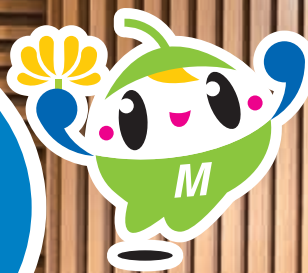


めいわ 議会だより



群馬県邑楽郡明和町議会

<https://www.town.meiwa.gunma.jp/>



三代目高校生モニター就任

● contents ●

- P2 議会モニターを紹介します
- P4 令和7年6月定例会
- P5 一般質問
やさしい町づくりのために
4人の議員が町政を問う
- P6 第2回・第3回臨時会

- P7 常任委員会活動報告
- P8 委員会活動報告・研修報告
- P9 広報委員会活動報告
- P10 きらり！スポーツ少年団



二次元コードを
読み込むと、議
会ホームページ
が開けます

三代目 高校生モニター就任

6月30日(月)、新たに5名の館林商工生を議会モニターに迎え、モニター委嘱式をおこないました。今号では、委嘱式の模様や新たな活動をスタートさせた新メンバーを紹介します。

【委嘱状交付の様子】



【議場で坂上議長を囲んで】



【議員との懇談の様子】



【新メンバーの紹介】

Q.1 趣味や特技

Q.2 議会モニターの抱負

Q.3 明和町に対する要望

田村 百々さん
(たむらもも) 3年



A.1 洋楽やK-POPなどの音楽を聴くこと。特技はタイピング。

A.2 議会の仕組みについて学ぶとともに、ポスター制作や議員さん意見交換をするのが楽しみです。

A.3 学校周辺の通学路で、事故防止と安全確保のため、カーブミラーの設置をお願いしたいです。

荒井 優斗さん
(あらいゆうと) 3年



A.1 読書(東野圭吾さんの小説が好き)、野球観戦(一番見るものはプロ野球)、タイピングが得意。

A.2 モニターの活動を通じて、議会や政治について、より多くの知識を吸収し、関心を高め、少しでも今後の人生に役立てたい。

A.3 幅広い年齢層の人が楽しめる施設があると良いと思います。

大和田 晴矢さん
(おおわだはるや) 2年



A.1 読書。年間300冊ほどを読んでおり、読み始めると本の世界に入り込んでしまい、時間を忘れるほど集中して読み込んでしまいます。

A.2 この町をより良くするため、自分なりの意見をはっきりと伝えるようにしたい。

A.3 より住みやすく、より居心地の良い町にしていって欲しいです。

松島 ひなたさん
(まつしまひなた) 2年



A.1 音楽を聴くこと(邦ロックが好き)、いつでもどこでも寝られること。

A.2 議会の人との関わりを大切にし、さまざまな活動で得た知識をもとに、18歳になったら選挙に生かしたい。

A.3 良い政策を行い、住みやすく魅力あふれる町にしたい。

新井 理人さん
(あらいりひと) 1年



A.1 絵を描くことと映画鑑賞。

A.2 私は選挙については詳しくありませんが、この場を借りて、正しいイメージや知識を蓄え、さまざまな年齢層の方々に、選挙について少しでもよく知ってもらえるよう頑張ります。

A.3 引き続き、住みやすく楽しい町作りを続けていってください。

議会モニターインタビュー

～町民の声をこれからも議会へ～

武井 邦夫さん（大佐貫）

Q 1) 議会モニターに応募したきっかけは。

A 1) 何度か議会を傍聴して感じたことが多く、直接伝えなかったので応募しました。

Q 2) 議会を傍聴して感じたことや印象に残ったテーマは。

A 2) 傍聴する人が増えたことは良い傾向だと思います。議員の発言時間が短いので、もう少し時間をかけて議論を深めてもらいたいと思います。女性議員が入り女性目線のテーマが実際に採用されたことは良いと思います。

Q 3) 町民として議会に期待することは。

A 3) 議会は町民の皆さんの身近なテーマを取り上げているので、ぜひ傍聴に来て欲しいです。議員には、町民に関心を持ってもらえる内容を一般質問に取り上げ、より活発な議会活動を期待します。

議会モニターお疲れさまでした

青山 健さん（新里）

3年間、議会モニターとして務めさせていただきました。議員の方、事務局の方には、その間大変お世話になりました。ありがとうございます。議会だよりの編集作業にも参加でき、光栄に思います。議員の方をはじめ、参加者全員が誠実に議論し、町の将来を考えていることがよく解りました。また、館林商工高校の先生と生徒が議会モニターとして参加していることも、なれ合いを防ぎ、会議を実直に運営できることにつながっていると思います。

最後になりますが、議会そのものは非常に進行が遅く感じました。スピード感のある活発な議会となっていくことを願います。

議会モニターを募集します！

まちづくりや議会の運営など、皆様のご意見やアイデアを「住んでよかった明和町」の実現に反映させませんか。

【資格】

- ・ 明和町在住、在勤、在学する人（公務員等を除く）
- ・ 議会の仕組み及び運営に関心のある人
- ・ 議会広報に関心のある人

お問い合わせは議員・議会事務局まで

第2回

定例会

会期
6/4~5

明和中学校体育祭

◎…賛成、×…反対、退…退席、欠…欠席、議…議長

提出議案と審議結果

議案	件名と主な内容	審議結果	1 堀口 正敏	2 小野 光枝	3 三浦 次弘	4 栗原 孝夫	5 藤野 一也	6 荒井 信行	7 眞塩香奈子	8 本澤 春江	9 齋藤 一夫	10 島田 宏幸	11 奥澤 貞雄	12 坂上 祐次
報告 第2号	繰越明許費計算書	—												
報告 第3号	第1期（令和6年度）株式会社めいわ農業公社事業及び決算の報告	—												
報告 第4号	令和6年度明和町土地開発公社事業及び決算の報告	—												
報告 第5号	令和7年度明和町土地開発公社予算（補正第1号）の報告	—												
議案 第28号	専決処分の承認（令和7年度明和町一般会計補正予算（第1号））…まち・ひと・しごと創生事業費2,540万円を追加し、補正後の予算額を82億2,540万円とするもの。	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第29号	明和町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正…地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律等の改正に伴い、所要の改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第30号	明和町公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正…下水道の普及促進にあたり、新たな下水道接続促進補助金を整備し、従前の報奨金を廃止することに伴い、一部文言を削除するため所要の改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第31号	明和町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正…国基準の一部改正に伴い、町の基準を国の基準に準じたものにするため所要の改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第32号	明和町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正…国基準の一部改正に伴い、町の基準を国の基準に準じたものにするため所要の改正を行うもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第33号	令和7年度明和町一般会計補正予算（第2号）…定額減税に伴う不足額給付金支給事業費4,864万8,000円、障害福祉システム改修委託料50万円、道路維持管理費1,000万円、道路新設改良費3,000万円、合計8,914万8,000円を追加し、補正後の予算額を83億1,454万8,000円とするもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議



PICK UP!

議案説明

【議案第28号 一般会計補正予算】

まち・ひと・しごと創生事業
「明和町イノベーションアカデミー」今夏開講！



今回の事業は、国の新しい地方経済・生活環境創生交付金を活用したもので、予算2,540万円のうち1,250万円が国庫補助されます。IT教育とは、IT技術そのものを学ぶ教育と、ITを活用して学習を効率化する教育の両方を指します。明和町イノベーションアカデミーと題し、未来を創るIT人材を育てることを目標に次の事業が行われます。

①小中学生向けのIT教育…学校の授業での実施ではなく、課外活動という形でプログラミング等の講座を行います。ふれあいセンタースズカケ、ふれあいセンターポプラ、日本キャンパックホール等で放課後及び土曜日、日曜日に行われます。

②町内住民・中小企業向けのリスキリング教育…学び直し、スキル再習得としてIT教育等を実施します。

県内3番目の先進的なすばらしい試みで、大いに期待できます。ぜひ参加してみてください。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって事務の執行状況や将来に対する方針等について、報告や説明を求めたり、疑問点をたずねるものです。

6月定例会では、4人の議員から7項目について一般質問が行われました。詳しい内容は、各議員の二次元コードから議会中継（録画）をご覧ください。また、会議録は後日明和町議会ホームページから見るができます。



■ 本澤 春江 議員

・健康づくりのための体育館利用について



■ 島田 宏幸 議員

・企業誘致と雇用確保について



■ 奥澤 貞雄 議員

・ふるさと納税の運用について
・英語教育の充実について
・安心できる学校環境整備について



■ 齋藤 一夫 議員

・橋梁点検について
・子育て支援について



Q 町政を問う

やさしい町づくりのために



令和7年第2回明和町議会臨時会は4月21日に招集され、会期1日で開かれました。この臨時会には条例改正など議案3件が提出され、慎重に審議した結果、原案のとおり可決しました。

提出議案と審議結果

○…賛成、×…反対、退…退席、欠…欠席、議…議長

議案	件名と主な内容	審議結果	1 堀口 正敏	2 小野 光枝	3 三浦 次弘	4 栗原 孝夫	5 藤野 一也	6 荒井 信行	7 眞塩香奈子	8 本澤 春江	9 齋藤 一夫	10 島田 宏幸	11 奥澤 貞雄	12 坂上 祐次
議案 第25号	専決処分の承認（明和町税条例の一部改正）…地方税法及び地方税法施行規則の一部改正に伴い、個人町民税における特定親族特別控除額の追加や軽自動車税における種別区分の見直しなど所要の改正を行うもの。	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第26号	専決処分の承認（明和町国民健康保険税条例の一部改正）…地方税法施行令等の一部改正に伴い、基礎課税額及び後期高齢者支援金の課税限度額を引き上げるため所要の改正を行うもの。	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案 第27号	財産の取得…役場庁舎空調設備更新事業に伴う空調機の調達について、リース契約による15年間の賃貸借期間終了後、町へ無償譲渡され、財産を取得するもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

令和7年第3回明和町議会臨時会は7月10日に招集され、会期1日で開かれました。この臨時会には工事請負契約の締結について議案1件が提出され、慎重に審議した結果、原案のとおり可決しました。

提出議案と審議結果

○…賛成、×…反対、退…退席、欠…欠席、議…議長

議案	件名と主な内容	審議結果	1 堀口 正敏	2 小野 光枝	3 三浦 次弘	4 栗原 孝夫	5 藤野 一也	6 荒井 信行	7 眞塩香奈子	8 本澤 春江	9 齋藤 一夫	10 島田 宏幸	11 奥澤 貞雄	12 坂上 祐次
議案 第34号	工事請負契約の締結…明和西小学校長寿命化改修工事の契約にあたり、議会の議決を求めるもの。	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議



PICK UP!

議案説明

【議案第34号 工事請負契約の締結】

西小改修工事、夏休み中に着工

明和西小学校南校舎長寿命化改修工事は、総工費11億3,850万円で2年間かけて実施されます。国の交付金対象であるこの事業は、交付金の内定前に着工することはできないため、子どもたちの学習環境に支障をきたさないか、工事の遅れが心配されていました。そのため町では、工事契約を交付金の対象部分と対象とならない部分に分け、交付金の対象にならない2億417万8,590円の部分の契約を先に行い、夏休みに着工できるよう取り組むものです。

議会としても、教育環境を早期に整備する必要性を考慮し、今回の臨時議会で可決しました。残りの契約は交付金内定後に改めて審議される予定です。



校舎には、黒板が見やすく光らない工夫がされます

総

務・産業常任委員会

防災について学ぶ

近年は自然災害の発生件数が増えており、各地に深刻な影響を及ぼしています。こうした状況を受け、議員を対象に普通救命講習及び防災研修を実施しました。また、議会として防災に関するリーダーシップを高めるため、スマートフォンアプリを活用した「ヤフー防災模試」を委員全員で受講し、日常的な災害意識の向上と基本的な知識の習得に努めました。さらに防災への関心を高めるとともに、町民のかたへの啓発の一環として議員全員で防災ベストを作製、加えて自然災害等の非常時に備えた防災備蓄の現状を把握するため、関係課への聞き取り調査を行いました。その結果、各避難所の収容人数に対して十分な備えがされていない課題が明らかとなりました。今後も引き続き防災意識を高くもち、町の備えをより充実させていけるよう取り組んでいきます。



文

教・厚生常任委員会

スクールバス導入に向け更なる検討を



現在、本町の小学生の通学方法は主に集団登校による徒歩通学となっていますが、夏季の猛暑や少子化の影響により集団登校が限界を迎える地区も出てくる時代となりました。スクールバス導入の検討は避けては通れない問題です。

そこで本委員会では、「(熱中症予防) 小学校スクールバス導入の検討について」をテーマとし調査研究を実施してきました。先進地の視察や登下校に関する保護者アンケートの実施、また町内地区別児童数の調査により町の現状を確認した結果、保護者からはスクールバスの導入を望む切実な声が聞かれましたが、道路事情や費用の面などに課題があることがわかりました。児童数の多い中谷地区と新里地区に対応しながら東西各小学校へのバス運行を考えると、バスは最低3台から4台は必要です。また、町内で大型バスが走行できる道路やバス停留所の確保についても、安全上の課題の一つです。

しかし、昨今の夏の暑さは40℃近くになる厳しい環境であり、子ども達が長時間歩いて登下校することはとても心配です。利用対象者を低学年児童(1～3年生)に絞る、夏季期間(6月7月と9月)の下校時のみの運行とするなど、スクールバス導入の実現に向けて更なる検討が必要です。

議会改革特別委員会

議員のなり手不足解消へ

近年、全国の地方議会において「議員のなり手不足」が大きな課題となっています。特に町村議会では定数を下回る立候補者数や、無投票による当選が増えており、民主主義の根幹が揺らぎかねない事態です。全国町村議会議長会発行の「町村議会議員のなり手不足に潜む3つの危機」によると、2023年の統一地方選挙では町村議会の33%が無投票でした。特に人口1万人未満の自治体で顕著であり、一部地域では定数割れが発生し補欠選挙すら成立しない事例も発生しています。明和町議会も例外ではなく、2023年の議会議員選挙では定数と同数の立候補者数となり、無投票となりました。当町においても将来的な議会のあり方や持続可能性を見据え、議会改革特別委員会での課題に関する協議を行ってきました。原因分析のため



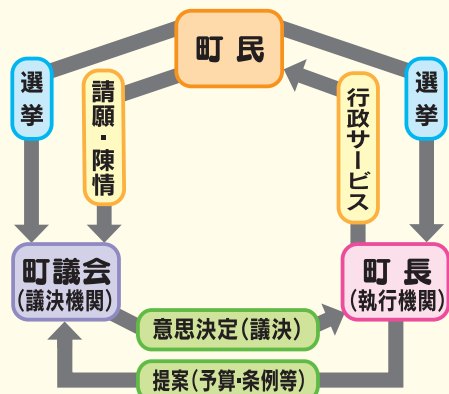
に、議会活動活性化分科会・政務活動費導入分科会・議員定数見直し分科会の3つの分科会に分かれて調査研究を重ね、毎回活発な意見交換が行われました。時代の変化や住民ニーズに対応できるより開かれた議会を目指し、委員会活動の活発化や議会の魅力発信などについて話し合いました。

新議員研修会

町村議会の権限と運営について学ぶ

6月27日、群馬県市町村会館にて「新議員研修会」が開催され、全国町村議会議長会 議事調査部 参与 赤羽正法氏を講師に迎え「町村議会の権限と運営」をテーマに講義を受講しました。

今回の研修会には、県内7町村から30名の出席があり、地方自治制度における町村議会の位置づけを始め、議会と長との関係、議会が持つ議決権や検査権、



調査権等の基本的な権限、そして議員個人に与えられている発言権や表決権などについて学びました。また、議員としての義務や兼職の制限についても、改めて認識を深める内容でした。そして、会議の諸原則や本会議の運営、請願や陳情の審査など、日ごろの議会活動に直結する実務的な内容も数多く盛り込まれており、約2年の経験を重ねた私たちにとっても確認と学びの良い機会となりました。

今回の研修を通じて、住民の皆様の声を町政に届ける議員の役割を再認識するとともに、今後とも誠実にその職務を行っていきます。

広報委員会

「伝える」から「伝わる」へ 「議会をもっと身近に感じてもらうために、 紙面をリニューアル」

広報委員会では現在、「議会だより」の編集方針を新たに作成し紙面のリニューアルに取り組んでいます。これまでの議会だよりは、議会での



決定事項や議論の結果を「伝える」ことに重点を置いてきましたが、今後は、市民の皆さまに「伝わる」紙面づくりを目指していきます。

「伝わる」とは、読

んだ人が内容を理解しやすく、議会の活動をより身近に感じられることです。私たちは、議会だよりを市民の皆さまが議会に触れる「入口」と捉え、手に取った人が自然と読み進められるような工夫を凝らしていきます。

そのために、リニューアル後の紙面では、限られたスペースに情報を詰め込みすぎることではなく、要点をわかりやすく整理し、見出し

しやレイアウトにも配慮します。写真や図表の活用、見出しやキャッチコピーなども見直し、読みやすさを高める構成を目指します。

また、議会だよりを起点に、議会ホームページでの録画中継や関連資料への誘導も強化します。紙面だけでは伝えきれない議論の背景や内容を、より深く知っていただけるよう、デジタルとの連携を進めていきます。

このように「読まれ、役立ち、議会を身近に感じてもらう」ことを目的としたリニューアルは、111号（令和8年5月）からの反映を予定しています。広報紙という形にとどまらず、議会と市民の距離を縮める「懸け橋」となることを目指し、広報委員一同で意見を出し合いながら準備を進めています。

今後も、皆さまからのご意見やご感想を参考にしながら、よりよい紙面づくりに努めていきます。どうぞご期待ください。

議会だよりのあり方を考える

4月17日、千代田町議会広報編集委員会を視察しました。

明和町議会が発行している議会だよりの改善と新たな構成の確立を目指し、議会だよりの編集や発行作業にどのような違いがあるのかを学ぶため、実際に開催されている委員会に参加させていただきました。

千代田町議会は令和6年1月25日発行の「大河」第165号が、第39回町議会広報全国コンクールで奨励賞（企画・構成部門）を受賞しています。編集要領を基にページ割り、レイアウトの提案、役割分担やスケジュールなど細部に至るまでしっかりと示され、改善が幾度も繰り返されていることがわかりました。

今回の視察を参考に、めいわ議会だよりが充実した内容となるよう、全体的な改善を図りたいと考えています。



きらり! スポーツ少年団

<団体名>

明和剣友会



<活動内容>

小学校1年生から6年生まで、現在16名のメンバーで活動しています。

毎週水曜日・土曜日の18時45分から20時(第2土曜日・祝日は休み)に、明和中学校武道場で稽古をしています。

<指導者から一言>

明和剣友会では、子どもたちが剣を交える中で、相手を思いやる心を育てながら、心の土台を築いていくことを大切にしています。また、指導者も子どもたちと一緒に学び合いながら、みんなで楽しく稽古に取り組んでいます。



<剣士から一言>

明和剣友会は、礼儀を大切に、みんな仲良く、楽しく稽古に励んでいます。

剣道未経験の方でも大歓迎です。興味がある人は、ぜひ見学に来てみてください!!



委員	副委員長	委員長
島田 真	小野 員	本澤 三浦
荒井 塩	信 光	春 次
宏幸 奈子	行 枝	江 弘

広報委員会

次回定例会(予定)

議会の生の声を
聴いてください

9月2日(火)から
午前9時～

9月9日(火)まで
(一般質問は9月3日・4日)

詳しくは議会事務局へ
TEL 84-3111

三浦委員長のひとこと

私が普段使っている老眼鏡は真ん中が磁石でつながっていて、使わない時は首に掛けておける優れものです。NHKの「にっぽん縦断こころ旅」で火野正平さん(故人)が使っていたのを母が見て、「面白いメガネだね」と言ったのがきっかけで、誕生日にプレゼントしました。後に母は白内障の手術をしてメガネ不要となったため、私が引き継いで使っています。母は7年前に、火野さんは昨年亡くなり、思い出深いこのメガネを大切に使い続けています。日々の暮らしの中にある何気ない物にも、心をつなぐ力があります。委員長として議会の出来事を伝えるなかでも、そんな小さなつながりや温もりを届けられる紙面づくりを心掛けていきたいと思っています。

